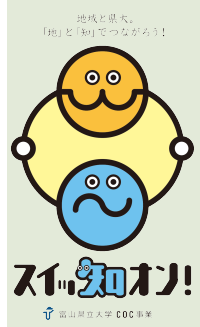


# 富山県立大学 COC NEWS

Vol. 5  
地(知)の拠点  
Center of Community



[CONTENTS]

- ピックアップ！
- H27後期COC活動報告
- 成果発表会・外部評価会
- COCOS
- お知らせ

1面  
2、3、4面  
5面  
6、7面  
8面

PICK UP!

## 高岡市長と本学学生との対話



2月19日、高橋正樹高岡市長に來学いただき、高岡のまちづくりや活性化をテーマにした学生達との意見交換会を行いました。平成27年度高岡市で取り組みを行った岩本ゼミと小林一也ゼミ、地域協働研究会COCOSの3団体15名が参加し、高岡市の未来を市長と語り合い大いに盛り上がりました。

会前半は、各グループから活動紹介を行いました。高岡市の地域課題について取り組んだ岩本ゼミ、公共交通機関の利用促進を目指し万葉線の「おも

てなし電車」を企画した小林一也ゼミ、高岡に限らず様々な地域活動に取り組むCOCOS、それぞれの学生が工夫を凝らしたプレゼンテーションを行い、市長も大変関心をいだかれました。

続いて、市長を囲んでのグループワークを行いました。「若者支援」「歩いて暮らせるまちづくり」「県立大が高岡市と取り組めそうなこと」の3つのテーマグループに分かれ、ワールドカフェ形式(グループメンバーを替えながら対話する手法)で活発な対話がなされました。「万葉線、バスの料金を一律化すれば分かりやすくなり利用者が増えるのではないか」「全国各地の獅子舞を高岡に招き、観客の投票で順位を決めるイベントを企画してはどうか」「年末年始に大規模な花火大会を開催すれば若者も注目するのではないか」などのアイデアが出されました。

会の終わり、高橋市長から「住民が気付いていないような高岡の魅力を皆さんの目線で見つけてほしい」との要望をいただきました。本学では今後高岡市との協働・連携を更に深めて行きたいと考えています。

PICK UP!

## COCシンポジウム + ワークショップ開催



2月19日、本学にて「COCシンポジウム+ワークショップ」を開催いたしました。富山地域学研究所長で富山国際大学現代社会学部客員教授の浜松誠二先生を講師にお招きし、「統計データに見る富山県の地域課題」という内容でご講演をいただきました。本学教職員、自治体等の地域関係者約40名が参加しました。「人口減少と居住の見直し」「高齢化と介護の選択」「地球温暖化抑制への行動」という3部構成で、統計データを駆使した分析が紹介され、

「人口が減る中で、農地をどこまで温存するか、介護は地域で支える力が必要だ」などの指摘がありました。

続くワークショップでは、「本学で取り組む地域課題を考える」と題し、講演で提起されたテーマ等についてグループ討論を行い、本学が今後地域と協働して取り組むテーマやアイデアを抽出しました。情報システム工学科の岩本准教授がファシリテーターを務め、学生団体COCOSのサポートのもと、最後には本学での具体的な授業プランを参加者全員が作るころまでのワークを行いました。自治体の方からも具体的な授業案を出していただくなど、所属の垣根を越えた積極的なワークとなり大変有意義でした。

ワークショップ後には、飲食をとまなう意見交換会も行い、それぞれ立場を超えた地域課題に対する熱い思いを共有することができました。このシンポジウムで得られたことを、本学の今後の事業発展に最大限活かしていきたいと考えています。

# H27後期COC活動報告

miryo ku 地域を通じての国際交流  
中川・中畠・山崎 教養ゼミ

本学のある射水市は人口に対する外国人の割合が県内第1位で、ブラジル、中国、パキスタン、フィリピンなどの方々が多く住んでいます。今回、市内で外国人の日本語教育をサポートされている市民グループ「ワイワイにほんご・たいこうやま」のご紹介を受け、パキスタン出身のマテイさん、フィリピン出身のクリセルダさんをお招きして、それぞれの国のことや富山県での生活の様子について伺いました。また、本学からオランダへ留学していた生物工学科松村さんから留学体験についても語ってもらい、地域社会における国際交流や国際理解について考えました。



miryo ku 小矢部市における観光客増を目指した課題把握の試み  
榎原トピックゼミ



小矢部市の観光客の増大を促す方策を検討するため、小矢部市と協働して「道の駅メルヘンおやべ」と「三井アウトレットパーク北陸小矢部」にて、実地調査を行いました。道の駅及びアウトレット内の観光ブース前では、聞き取りアンケート調査、駐車中の自動車の登録地域および車のタイプの調査、ドローンによる上空からの車の流れの撮影を実施しました。「30代以下の女性客が多い」、「子ども連れが少ない」、「アウトレットの来客は道の駅をほとんど利用していない」等のが明らかになりました。今後は、これらの結果を踏まえて、小矢部の多様な観光資源の発信方法を具体化していく予定です。

san gyo 富山の業界について考える  
キャリア形成論

三年生のキャリア形成論で、学科別にそれぞれの業界の方をお招きして、各業界の特徴ややりがい、県内での役割や富山県で働く魅力などを伺いました。講演の後、学生たちはグループで感想や業界で働く際に挑戦してみたいことなどを話し合い、地域で働くことへの理解を深めました。各グループの発表では、「業界の課題や前例のないことへ積極的に挑戦し、より高みを目指してみたい」など熱意を述べる学生も多かったです。



- 講師—
- 機械：YKK (株) 目谷慎太郎氏
- 知能：(株) インテック 市田竜士氏
- 情報：北陸コンピュータ・サービス (株) 合田郁夫氏
- 生物：富山県薬業 (連) 高田吉弘氏
- 環境：(株) 富山環境整備 佐伯廣行氏

san gyo コマ大戦(リベンジ編) 甲府場所  
岩井専門ゼミ



コマ大戦への出場を通じて、ものづくり技術の修得と企業の技術者との交流を目的としている本ゼミが「全日本製造業コマ大戦G3 甲府場所」に出場しました。コマ大戦とは製造業、高等教育機関が製作したコマを持ち寄り、一対一で戦う大会で、本ゼミは4月末に富山場所に出場し、惜しくも本戦進出を逃しました。今回は新たなコマを製作して臨むリベンジとなりました。学生主体でコマの製作および大会の作戦を検討した結果、本大会では2回戦までを勝ち抜き、3回戦(準々決勝)に進むことができました。

### 射水市内小学校での理科実験

中島研究室

子どもたちの「科学離れ」対策の一環として、射水市内の小学校を訪問して5・6年生の理科実験を行いました。小学5年生は、「ものもの溶け方」を、小学6年生は「水溶液の性質」について、実験の面白さを体験してもらいました。

「ものもの溶け方」では食塩と塩化アンモニウムを水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いから溶ける仕組みや規則性を、「水溶液の性質」では、いろいろな水溶液の液性や金属との反応から水溶液の性質や働きについて実験してもらいました。生徒の皆さんは思い思いに楽しく実験していましたが先生役の学生は、易しく伝えることの難しさを体験した様子です。この取り組みは、片口小学校、中太閤山小学校と堀岡小学校にて行いました。



### 持続可能な社会のための都市と交通のデザイン

小林(一)トピックゼミ



平成27年12月20日、公共交通活性化と県外客へのアピールのために路面電車・万葉線の魅力向上を目指して、学生が昨年度に引き続き「おもてなし電車2」を企画、運行しました。高岡市や射水市を訪れる観光客を想定し、電車内で飲食や会話を楽しめる非日常の場として、市民団体RACDA高岡など地元の方々や大学関係者27名に乗車してもらいました。今回の「おもてなし」企画は、クリスマス風の飾りつけや衣装で、沿線の名物を振舞いながら、沿線の名所紹介、富山にちなんだクイズやビンゴ大会を楽しんでもらうものでした。当日は最高の天気に恵まれ、沿線の景色や魅力も十分に堪能していただけました。参加者へのアンケートを通じ、課題や今後へのアドバイスをアイディアを頂きました。

### 富山県の社会資本整備

黒部川総合土砂管理の取組み

手計トピックゼミ

富山県の社会資本整備を考えるため、黒部川の総合的な土砂管理について学びました。最初に、国土交通省黒部河川事務所の藤田所長よりその概要を伺い、グループ討論を行って認識を深めました。

後日、同事務所のご協力の下、黒部川と宇奈月ダム現地見学会を行いました。宇奈月ダムの構造や排砂の仕組み、黒部川の治山治水構造物、海岸領域での侵食対策等、詳しく説明を受けながら、通常ではなかなか立ち入ることのできない各所を見学させていただきました。

ゼミ最後には、これらの学びで得られたことや今後の富山県の社会資本整備のあり方などについて学生が意見をまとめ、ご協力いただいた関係各所の方々の前で発表を行いました。



### 高齢者の日常生活動作の理解とそれを支援する機器開発検討を通じた高齢者福祉学習の実践

鳥山・高木・唐山トピックゼミ



高齢者の住みやすい街づくりを考えるため、高齢者の転倒予防をテーマに、富山福祉短期大学社会福祉学科の宮嶋研究室の学生と合同で学修しました。

ゼミ前半では、転倒予防に向けた方法や装置について両大学ゼミ間で対話・検討を行いました。異分野のアイデアが交換・共有でき、互いに視野を広げることができました。次に、メーカー(菊池製作所)と開発中の歩行器にセンサを取り付け、近隣の特別養護老人ホーム「大江苑」の方に協力をいただいで市内スーパーマーケットにて実際の買い物で使用していただき、歩行器利用時の安全性評価を行うとともに、使い心地などのアンケート調査を行いました。

## 「高大連携」の試み

日程：平成 27 年 5 月～ 10 月

場所：各学科の研究室

教員：中島範行(生物)、平原達也(知能)、岩本健嗣(情報)、榊原一紀(情報)、  
鳥山朋二(情報)、浦島智(情報)、中村正樹(情報)

27 年 5 月から 10 月まで、地域の高校生に「工学」や「大学」により親しみを持ってもらおうと小杉高校の生徒 18 名を本学の研究室に「研究補助員」として受け入れました。放課後、各研究室に通いそれぞれのテーマで研究しました。10 月 27 日には、その成果を小杉高校で在校生や先生方の前で発表しました。発表に際しては、各研究室の先生や学生の指導を受けながら、準備から発表まで全て高校生自身で行い、大学生さながらのプレゼンテーションを見せてくれました。

<実施したテーマ>

- ガラスピンが出す音を捕まえよ
- スマートフォンもしくはセンサを用いたアプリ、サービス作成グループワーク
- 街全体のコンピュータ・シミュレーションで未来の交通網のカタチを探る
- 加速度・角速度センサを使った行動識別
- ひまわり大作戦：ひまわりの栽培、ひまわり BDF の製造



## その他の平成 27 年度後期地域協働授業

地域の魅力向上	近代化遺産—立野原監的塚の研究	原口志津子 教授
	動物園の社会的役割 (富山市ファミリーパークに学ぶ)	岡本 啓 准教授
	地域小学生のための英語教室 - グローバル人材育成につながる英語教育支援 -	山崎大介 准教授
	科学技術の先駆者に学ぶ (実業家 大谷氏について)	濱 貴子 講師
	地域ラジオ局 (エフエムいみず) との音楽番組制作	井戸啓介 講師
	文化財による地域振興の研究 - 近代化遺産・富岩運河水閘施設 (中島閘門) を例として -	原口志津子 教授 / 小林一也 准教授
	地方における若年層未定着の原因分析と ICT を利用した解決法に関する探索的研究	鳥山朋二 教授 / 高木 昇 教授 / 唐山英明 准教授
	あいの風とやま鉄道「高岡駅」から学ぶ (卒業研究の課題抽出)	西田泰伸 准教授
産業発展	富山の薬の歴史と現代の産業上の課題に対する探求 (広貫堂を訪ねて)	川端繁樹 准教授
	地域産業見学で得た知識を的確に伝達できる能力を習得する	堀川教世 准教授 / 宮島敏郎 講師
	プラスチック加工に必要な技術としてナノテククラスターの地域連携研究について学ぶ	竹井 敏 准教授
子どもの教育支援	おもしろ数学教室	石森勇次 教授
	公民館での理科教室の実践	藤井 正 准教授
	継続可能な「プラネタリウム工作教室」の検討	松本公久 講師
持続可能な社会への対応	地域の安心安全な食について	平野嘉孝 准教授
	小矢部市の中山間地域における廃校を利用した大気環境観測 - 越境大気汚染や火山性物質の動態および安全・安心のための情報提供	渡辺幸一 教授
	富山市フィールドミュージアム形成事業・環境教育プログラムの取り組み	立花潤三 講師
	中山間地域の過疎・高齢化の問題を考える	星川圭介 講師
安全安心への支援	新農業ネオニコチノイドについて考える	古澤之裕 講師
	射水市における避難施設の地理的位置の評価及び最適配置の検討	小林 香 講師
	旧富山大橋のコンクリートと鋼材の試験分析を通じた記録・記憶の保存	伊藤 始 教授
高齢者等への支援	視覚障害児生徒への科学イベント (科学ヘジャンプ・イン・北陸 2015)	高木 昇 教授 / 高野博史 准教授



## 平成 27 年度後期地域協働授業成果発表会

1月28日、29日の2日間、本学大講義室にて平成27年度後期のCOC成果発表会を行いました。本学学生や教職員、地域関係者の方々延べ300名が参加しました。司会・運営のCOCOSが、今回Twitterを導入し、リアルタイムで発表へのツイートを受け、新たな発表会を試みる事ができました。



### 【第1日】

- ①「近代化遺産・富岩運河について」 教養ゼミⅡ (原口志津子 教授)
- ②「コマ大戦を通じたモノづくり技術の習得 (リベンジ編)」  
専門ゼミ (岩井 学 准教授)
- ③「コストを最小化した城端線・氷見線の直通化」 卒業研究ゼミ (西田泰伸 准教授)
- ④ 学生団体の活動報告 (地域協働研究会 COCOS)
- ⑤「旧富山大橋のコンクリートと鋼材の試験分析を通じた記録・記憶の保存」 専門ゼミ (伊藤 始 准教授)
- ⑥「小矢部市の中山間部における大気環境観測Ⅱ」 専門ゼミ (渡辺幸一 教授)

### 【第2日】

- ①「動物園の社会的役割を学ぶ」 トピックゼミⅡ (岡本 啓 准教授)
- ②「地域の社会的リーダーの足跡と社会的形成について学ぶ～小矢部市大谷博物館の見学を通じて～」 トピックゼミⅡ (濱 貴子 講師)
- ③「新農業ネオニコチノイドについて考える」 トピックゼミⅡ (古澤之裕 講師)
- ④「万葉線『おもてなし電車2』の企画と運行」 トピックゼミⅡ (小林一也 准教授)
- ⑤「理科教室の企画と公民館での実施」 トピックゼミⅡ (藤井 正 准教授)
- ⑥「プラネタリウム工作教室の実施」 トピックゼミⅡ・天文部 (松本公久 講師)
- ⑦「大学間連携による新型歩行器の評価」 トピックゼミⅡ  
(鳥山朋二 教授、唐山英明 准教授、高木 昇 教授、富山福祉短期大学 社会福祉学科 宮嶋 潔 准教授)
- ⑧学生団体の活動報告 (地域協働研究会 COCOS)
- ⑨学生サークルの活動報告 (水土里保全研究会)
- ⑩「小矢部市における観光客増を目指した課題把握の取り組み」 トピックゼミⅡ (神原一紀 准教授)
- ⑪「富山市フィールドミュージアム形成事業・環境教育プログラムの取り組み」 トピックゼミⅡ (立花潤三 講師)



## 外部評価会

平成28年3月24日、本学のCOC事業にご協力いただいている公的機関や企業、団体の方々をお招きして、平成27年度の外部評価会を行いました。本会は本学COC事業の適切性や目標の達成状況などの進捗状況を、外部の方から評価していただく目的で年に1度実施しており、今回で2回目となります。今回も様々なご意見ご提案をいただきました。今後の事業展開へ活かしていきたいと思っております。

●日時：平成28年3月24日(木) 15:00～16:30

●場所：本学 本部棟7階会議室

●出席者：

射水市市長政策室政策推進課 課長	一松教進
(公社)射水青年会議所 まちづくり委員会委員長	中村長治
Code for Nanto 代表代理	倉谷龍孝
(株)スギノマシン 総務・人事グループ長	清水宏記
(NPO)高岡ディスカバー協議会 理事長	水越益夫
富山県知事政策局 課長	荻布佳子

●次第

1. 挨拶 (学長)

2. 富山県立大学COC事業の概要

(1) 事業概要とこれまでの取り組み等について

(2) COCOS (学生による地域協働研究会) の活動について

3. 取り組み等に対する意見交換

●主な意見

・学生評価のみならず、各取り組みにおける地域課題解決の達成度も知りたい。

・他県等のCOCに比べ、あまり目立っていないのでアピールが必要。

・本事業によって、地域社会や地元企業のことをより知っていくことが若者の定着率にもつながると思われる。

・企業は人事採用において「コミュニケーション力」を最重視している。学生成長度評価でコミュニケーション力に主眼がおかれていることは大変好ましい。

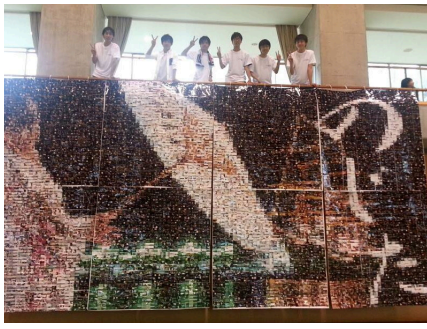
【大学側】

学長	石塚 勝	COCコーディネーター	堺 勇人
副学長・工学部長	松本三千人	COCOS副代表	中橋莉奈
学生部長	中村清実	教務課 課長	海下雅人
地域連携センター所長	前田幸男	主幹	中谷理子
キャリアセンター所長	中島範行	係長	上田明美
COC統括コーディネーター	奥田 實	主事	長井由香

地域協働研究会COCOS

いみず祭り

射水市は合併10周年を昨年迎えました。旧市町村間の壁はまだまだ厚いと言われています。そこで射水青年会議所が主体となって、射水を一つにしたいという思いの達成のため、射水市大島中央公園で、「いみず祭り」を開催しました。



COCOSは主催である射水青年会議所から「イベントの一部をやってみないか」というお誘いを受け、企画を一緒に考え、1万枚の写真で作るフォト・モザイク（複数の写真を使って、ひとつのモザイクアートを作るもの）を企



画・実行しました。これは学生自主プロジェクトにも採択されました。射水市各町村を撮った写真1万枚を使用し、モザイクアートを作成するとともに、射水市を一つにするという気持ちを込めました。この1万枚の写真を集めるために、COCOSが射水市各町村を巡って撮影してきたり、有志の方に写真をいただいたりしました。

いみず祭り当日は生憎の雨模様でしたが、いみず祭り参加者にこちらで用意した写真を貼ってもらい、縦4m×横7mの巨大なフォトモザイク

を作成しました。公開した際には大きな歓声をいただきました。

また、いみず祭りのラストにみんなで踊る「のじた総踊り」にも参加しました。のじた総踊りを覚えるための練習会に参加しながらのフォトモザイク作りはなかなかハードなスケジュールでしたが、その分達成感も大きいものでした。

平成28年は2回目のいみず祭り開催も決定しており、COCOSもまたそれに向けて尽力したいと考えています。



北陸カレッジ

北陸カレッジは、北陸の観光地で西日本の大学生が地元の方々との交流を通じ、様々な体験学習を行い、北陸の魅力を発見および情報発信するプログラムです。富山編では参加者が富山県の魅力を発掘、情報発信する中で地元大学生による運営・サポートが追加されました。COCOSは富山県庁からお話をいただき、北陸カレッジの運営に携わることとなりました。

まずはイベントを盛り上げるため、県庁から出た企画にCOCOSのアイデアを盛り込みました。そして大学生同士の交流を増やし、参加大学生と打ち解けることができました。現地の実習時にはアテンドとして参加大学生の案内、サポートを行うため、事前に体験実習行程案の検討や現地の下見調査を行いました。

当日は各コースに分かれ、参加大学生と2泊3日の体験実習を行い、実習後は参加大学生が旅行プランを企画・提案を行うためのサポートとして情報収集やアドバイスを行いました。



他大学の学生と交流



### 「学生交流会」

中部地区COC事業採択校

3月1日、岐阜で行われた、中部地区COC事業採択校「学生交流会」に参加してきました。この行事は、学生同士が他大学のCOC活動を行っている団体・ゼミの人の交流を通じ、COC事業への理解を深めるとともに、自大学での活動の発展や、学生自身のキャリアアップを図るために行われました。

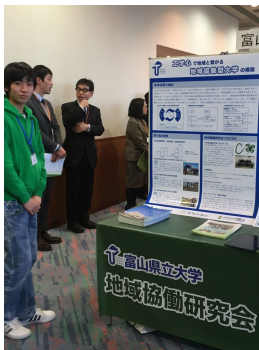
COCOS以外では、COC事業を行っている10大学の代表団体・ゼミが参加しました。各団体がそれぞれの大学や地域の特徴を生かした、または地域の問題に沿った活動をしており、参考になる意見や発表も様々ありました。



Column 【岐阜～滋賀のプチ旅行記】

3月1日と2日にかけてCOCOSは岐阜県と滋賀県に行ってきました！

初日は岐阜県であった「COC学生交流会」に参加してきました。内容は中部地区の複数の大学が自分たちの学校で行っているCOC活動をプレゼンとポスター



セッションで発表し交流を深めるといったものです。そこで僕らCOCOSも行ってきたCOC活動の発表をしてきました。スツで来ている学生が多い中、緑色のCOCOSのパー



カーで参加している光景は良い意味で目立っていました。ポスターセッションで話を聞いていると、1年生や2年生だけで発表をしに来ているという学校が多数いたり、その子らが学生団体に所属して授業ではなく独自の活動をしていたり、富山県立大学はCOC事業に関しては進んでいるとはいえ、学年が若いうちからこういった活動に触れて発表に行くといった機会が少ないうちですごく感心させられました。



「政所茶レンジャー」さん

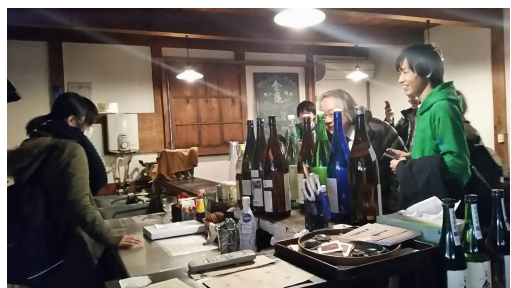
2日目は滋賀県立大学に行き、学生団体の「とよさと改蔵プロジェクト」と「政所茶レンジャー」さん



と交流してきました。

「とよさと改蔵プロジェクト」さんは一から自分たちの手で古民家を改装して地域活性化に貢献する団体で、「政所茶レンジャー」さんはお茶を一から育ててお茶作りから地域活性化に取り組んでいる団体です。どちらの団体も自分たちの活動を地域に生かすことをとてもよく考えられていて僕らの活動に非常に参考になりました。

是非来年もこのような機会があれば他の大学との交流に行きたいです。  
(COCOSリーダー 大巻)



## お知らせ ~ information ~

**H28 年度前期の成果発表会を行います！**

今年度も様々な取り組みを各ゼミにて行ってまいります。その成果発表会を7月に実施いたします。外部の方も参加自由ですので、ぜひご参加下さい。

## ■日時：

【第1日】7月28日(木) 13:10～14:40

教養ゼミ I / 専門ゼミ / プレゼンテーション演習

【第2日】7月29日(金) 14:50～16:20

トピックゼミ I

## ■場所：富山県立大学 大講義室

※詳細は、後日ホームページ等でご案内いたします。

**富山県立大学 COC 全国シンポジウム開催予定！**

■日時：平成 28 年 9 月 26 日(月) 13:00～17:30

■場所：富山国際会議場 2 階 多目的会議室

## ■内容：

【第1部】シンポジウム

1. 基調講演：「大学における地域連携・実践型教育の展開

～北九州地域活性化の担い手としての学生発見～」

講師 北九州市立大学 地域創生学群長 眞鍋和博 教授

2. 学生の事例発表

【第2部】分科会

※詳細は、後日ホームページ等でご案内いたします。



学内の  
皆さまへ

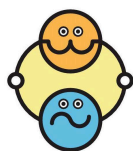
**「アクティブラーニング協働スペース」**

最近、トピックゼミや教養ゼミ（地域協働授業）でグループワークをしている学生の自主的な利用が増えてきました！ 地域協働授業を受けている学生の皆さん、空き時間を利用してどんどん活用して下さいね！

■図書を大幅に増やしました！ COCOS のメンバーが POP（内容を簡潔に書いたカード）をつくって学内に随時紹介します。貸し出しもできますので、ぜひお気軽にご利用ください。

■地上波対応 大型テレビ（60 型・据置型）を導入しました！ プロジェクター不要の気軽な映像利用が可能となりました。テレビ会議も可能です。どうぞご活用ください！

（場所：環境工学科棟 3F I-333 室 地域協働支援室）



地域と県大。「地」と「知」でつながろう！

**スイッチオン!**

富山県立大学 COC 事業 TPU Switch On! Project

公立大学法人富山県立大学 地域協働支援室

<http://www.pu-toayam.ac.jp/coc/>

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

(環境工学科棟 3 階 I-333 室)

TEL:0766-56-7500 (内線 255) FAX:0766-56-8022

E-mail:coc1@pu-toyama.ac.jp

編集：地域協働研究会 COCOS 発行：平成 28 年 6 月